

NEWSWAVE

発行
(株)常陽経営コンサルタント

新しい時代を切り拓く実践経営情報紙

パソコンで実践している節約術 電力使用を抑えるさまざまな工夫

パソコン（PC）とプリンターなどの周辺機器の維持費にどのくらいの人が気を使っているかは、日経生活モニターによると、節約を意識するのは「価格やポイント付与率を比較しながら製品を選ぶ購入時だけ」という消費者が多いようだ。実践している節約術では 61%が「何もしていない」。「している」人はわずかに 22%で、残りは「分からない」。

節約派の中でも実践例が多かったのが、電力の使用を抑えること。「プリンターは使う時だけ電源を入れる」、「コードを抜かずに電源の切り替えができるタップを使い待機電力が発生しないようにする」、「デスクトップよりも消費電力が少ないノートに買い替えた」などの声が目立った。「簡単な検索はスマートフォンで

済ませ、PCを立ち上げる回数が減った」等の声もあった。スマートフォンの機能はいずれPCに並び目的が二極化されると見る人が多い。

PC本体の使い方では「こまめにシャットダウン」と「電源は切らずにスリープ（一時的停止状態）にしておく」という二派に分かれた。写真等の「印刷には極力、裏紙を使う」、「インクは廉価品を使用」と、誰もが消耗品に気を使う。中には「プリンターは買わずコンビニや勤め先で済ませる」という“徹底派”もいた。

しかし、会社での仕事以外での使用は違反だ。そもそも生活には維持費が不可欠。節約も度を越すと人間関係が壊れ、IT機器を手放すハメになると言えよう。

09 年分申告所得の納税者 718 万人 納税者 1 人平均所得金額 493 万円

国税庁発表の「税務統計から見た申告所得税の実態調査」結果によると、09 年分の申告所得税の納税者数は前年比 4.6%減の 718 万人と、4 年連続で減少した。また、申告所得金額は同 10.6%減の 35 兆 3,865 億円と 3 年連続減少、申告納税額は同 12.8%減の 4 兆 5,395 億円と 2 年連続減少だった。

納税者数を所得者区分別にみると、給与所得者が全体の 33.4%、雑所得者が 28.1%、事業所得者が 20.5%などとなっている。

2009 年分の税額 4 兆 5,395 億円は、前年に比べ 12.8%減少し、10 年前（1999 年分）に比べると 4.5%減少している。税額の内訳をみると、源泉徴収税額は 2 兆 2,670 億円、申告納税額は 2 兆 2,725 億円で、それぞれ前年に比べ 11.4%、14.2%

の減少。

また、所得階級別にみると、所得金額 200 万円以下の者の税額は 750 億円で全体の 1.7%、500 万円を超える者の税額は 4 兆 1,935 億円で 92.4%をそれぞれ占めている。

2009 年分における納税者 1 人あたりの平均所得金額は 493 万円（事業所得者 389 万円、給与所得者 672 万円、不動産所得者 526 万円、雑所得者 202 万円、他の区分に該当しない所得者 1,810 万円）で、前年と比べると 6.3%減少し、10 年前と比べると 11.2%減少。1 人あたりの平均税額は 63 万円で、前年と比べると 8.6%減少し、10 年前と比べると 1.6%減少している。

なお、2009 年分の所得税の負担割合は 12.8%で、所得 100 万円以下の階級は 1.4%、1 億円を超える階級は 26.4%となっている。